

キャラクター名
フィリオラ・エース

プレイヤー名

シンドローム	バロール ウロボロス	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	
オプション		年齢	15	性別	女性
覚醒	素体	衝動	飢餓	初期侵食率	46%
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	1	0	0			1	行動値	13
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	13
精神	4	1	0		4	9	戦闘移動	18
社会	1	0	0			1	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	9		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
墨鋼(クロガネ)		0		LvX2+11		データは「魔眼槍」

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
レネゲイドナチュラル	
適合体	
エピック	
ストレンジフェイス	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
実験体	P	N		
戦闘用人格	P	N		
ジョシュア・エース	P 慕情	N 不安		
来栖 飛鳥	P 憧憬	N 隔意		
イリス	P 好意	N 脅威		
リシア・サイレンスヒル	P 誠意	N 隔意		
マーシャ	P 好意	N 食傷		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ウロボロス	3	2	メジャー					
効果: c値-Lv(下限値7)								
黒の鉄槌	5	1	メジャー	視界	-	RC		
効果: 攻撃力:[Lv×2+2]の射撃攻撃 至近不可								
迎撃する魔眼	2	7	オート				リミット	
効果: リアクション放棄して反撃 c値-Lv(下限値7)								
魔眼槍	3	5	マイナー					
効果: 白兵/-4/[Lv×2+9]/5/至近								
斥力跳躍	1	1	マイナー					
効果: 飛行状態で+[Lv×2]m戦闘移動								
原初の青:シャインブレード	10	3	マイナー					
効果: 武器の攻撃力+[Lv+2]								
原初の赤:サンドシャード	3	5	基+3	メジャー	視界	範囲(選択)	RC	
効果: 攻撃力:[選択した武器の攻撃力]の射撃攻撃 その後選択武器破壊								
原初の黒:ポルターガイスト	1	6	マイナー				100	
効果: 武器を破壊し、その攻撃力分シーン間の攻撃力を上昇								
時間凍結	1	5	イニシアチブ				80	
効果: HP20消費して割り込み行動								
無形の影	1	4	メジャー				効果参照	
効果: あらゆる判定を【精神】で代用								
背教者の王	1	4	メジャー			白兵/RC	100	
効果: 攻撃力を+[侵蝕値/10]								
原初の灰:異形の捕食者	3	8	基+5	オート			120	
効果: ダメージを[Lv+2]Dし、シーン間の攻撃力+[軽減したダメージ]分								
時の棺	1	10	オート					
効果:								

UGN本部監査部部长、ジョシュア・エースの秘蔵っ子。UGNチルドレンとして登録されている。監査部においてマスコットのような立場に収まっており、表向きは監査部に保護されているオーヴァードとして扱われている。文字通り切り札であり、一人で監査部の戦力を担っていると言っても過言ではない。

情動が極端に薄く、機械的。話しかけても最小限の反応しか返さず、また能動的な行動をすることはほとんど無い。アルビノであることや傷げない外見も相まって人形めいた印象を受ける。日光が苦手なのか、基本的に日陰にいる。視覚、味覚を失っている一方、痛覚や触覚、聴覚が強化されており、魔眼による感知も含めて周囲の状況を知覚している。

UGNのとある研究施設において、秘密裏に行われていた研究の実験体である。プロジェクト・アダムカドモンの延長線上に存在した研究であり、FHの技術も多分に使用されている。表面上は真っ当な研究をしていたため発覚が遅れ、UGN本部監査部に保護される形となった。

魔眼を剣の形状に変化させ展開し、射出する。重力操作によって低空を移動しながら大量の剣を撃ち放つ、という戦闘スタイルを取る。

プロジェクト・アダムカドモンが行われていた当時からの実験体で、元々はFHチルドレン。アルビノで病弱だったため被験者として回された。実験によって精神が摩耗しており、また戦闘用人格“ダインスレイフ”の搭載候補だったため精神操作によって人格を削られ、自我が希薄となっている。最終的に高崎隼人が選定されたため廃棄予定の実験体として捨て置かれていたが、アダムカドモンが凍結された際に、上述したUGNの研究施設に接收された。

接收された先の研究施設において劣化ダインスレイフともいふべき戦闘用人格と、それを補助するための義眼を埋め込まれている。本来は片目に埋め込む物だったが、アルビノであることや様々な非人道的な実験、劣悪な環境で長年廃棄物として扱われていたことなどの影響により視力が元々悪かったため、両目ともに挿れ埋め込まれた。そのため視力を完全に失っている。

